

令和4年度前期入学式式辞（令和4年4月17日）

校庭の緑が鮮やかに輝きを増すのを見ると、この季節には、自然も人間も新しい可能性に向けて伸び行くものなのだということをしみじみと感じます。本校は、前期・後期の2期制を取っておりますが、こういった生命の息吹を感じながら挙行できるのが、前期入学式らしいところでございます。

改めまして、令和4年度愛媛県立松山東高等学校通信制課程並びに NHK 学園高等学校の入学式及び開講式を春爛漫の中、このように挙行できますことに深く感謝いたします。

さきほど入学及び受講を許可いたしました119名の皆さん、ご入学おめでとうございます。松山東高等学校通信制課程の在校生はもとより教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。

本校通信制課程は、愛媛県で唯一の公立通信制課程であり、「ひとりじゃないんだ、がんばろう」を合言葉に、それぞれの目標に向かう皆さんの通教生活をサポートする学校です。このフレーズは本校の「通教の歌」の歌詞の一節ですが、ご入学にあたってこの言葉の意味を改めてお考えいただきたいと思うのです。

「ひとりではない」という言葉には少なくとも3通りのとらえ方があると私は考えます。

一つ目には、本校通信制には、先輩なり、同期生なり、同じ志を持った人がいる。それだけではなく、先生方という強力なサポーターもいる。つまり仲間がいる、という意味。通信制は、自学自習を基本としており、登校する日も限られています。ややもすると孤独を感じて不安な気持ちになるかもしれません。そんな時に、この通信制に所属している自分には、何人も仲間がいるのだと心を上向きにし、「がんばろう」と元気を出させてくれる言葉であります。

一方で、通信制では、自分を律する心も求められます。仕事やアルバイトをこなし、忙しさや疲れもある中で、時間を作ってレポートを提出したり、スクーリングに出席したりするわけですから、自制心や自律の心が必要です。そんなしんどさを感じた時に、もう一つの「ひとりじゃないんだ」という意味が浮かび上がってきます。それは「この愛媛県で、いや日本で、もしかしたら世界中で、こんなふうに苦労しながら高校の単位取得を目指している人は、自分以外にもたくさんいるに違いない。」という自分への叱咤激励の意味であります。現に、日本の通信制課程で学ぶ高校生は、令和3年5月1日現在で218,389人。その数は年々増加しているようです。しんどい時、人間は自分のことをネガティブに考えてしまいがちです。自分の弱さや運の悪さを「どうして自分だけ」と思うこともあるのではないかと思います。そんな局面で、「頑張っているのは、自分ひとりではない。同じように努力している、同じ立場の人がいるのだ」と考えることは、ポジティブな思考のきっかけになると思います。この二つの意味を合わせることで、この言葉の幅と深みが増すのです。

三つ目は、誰もが知っている大事なこと。私たちは誰しも「ひとり」では世に存在しえません。必ず、他の誰かとどこかで関わりながら、生を紡いでいるのです。今朝食べたパンも、さっき飲んだウーロン茶も、今身に着けている服もメガネもマスクでさえも、必ずどこかのだれかにお世話になっているわけです。人はモノを手に入れる時にお金を払いますが、人の優しさや温かさを感じながら、その対価以上に多くのものを得ているケースも相当にあると思います。見たこともない、会ったこともない人にさえ、お世話になっているわけですから、身近な人からは、もっと大きな恩恵をいただいているというのは、実は当然のことなのです。だから、すぐそばにいる人の思いを大切にしてほしいのです。自分ひとりでここまでやってきたのではない、という意味での「ひとりじゃないんだ」という気付きが人を成長させます。人を優しくさせます。そこに気付いた方は、今度は自分が身近な誰かの支えとなれるような人になるのです。

同じように、複数の取り方ができる、「一日一生」という言葉があります。「一日を人生の全て、すなわち『一生』だと思い、大切に懸命に生きよう」という教えでしょう。一方で「今日の自分は今日でおしまい。明日はまた新しい自分が生まれてくる。」という捉え方。すなわち「今日失敗したからといって落ち込んでしまうことはない。精一杯やったのだから、明日また頑張ればいい。」と気持ちを切り替えて、明日の自分を応援する姿勢です。

人生において、どちらかが正しいということは少ない。どちらかが正しいということの方が多いと感じます。大切なのは、自分はどうか、自分がどうなりたいか、それなら、どう生きるか、自分の進む道を切り拓くことだと思います。

今日、新しい一歩を踏み出した皆さんの前途洋々たることを祝し、実り多き高校生活を送ることを祈るとともに、それぞれの夢を実現されることを大いに期待して、式辞といたします。

